



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <https://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 松本 元春
 (氏名) 津田 幸一
 TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	68,599	5.7	6,929	73.0	11,998	236.8	6,804	204.6
2020年12月期第1四半期	64,903	4.4	4,004	20.2	3,562	43.7	2,234	42.4

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 15,197百万円 (%) 2020年12月期第1四半期 7,192百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	70.41	
2020年12月期第1四半期	23.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	666,792	486,906	72.4
2020年12月期	658,139	476,920	71.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 482,479百万円 2020年12月期 472,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		50.00		50.00	100.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000	21.3	15,000	93.1	19,000	175.8	11,000	61.2	113.82
通期	280,000	15.3	28,000	58.5	32,000	67.5	21,000	37.7	217.30

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想の修正については、本日(2021年4月28日)公表いたしました「2021年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料8ページ2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	99,523,246 株	2020年12月期	99,523,246 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2021年12月期1Q	2,882,260 株	2020年12月期	2,882,008 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	96,641,160 株	2020年12月期1Q	96,618,602 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[第1四半期連結累計期間]

①概況

世界経済は、回復の兆しが見られるものの、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の流行が依然として経済活動に影響を及ぼしています。国内経済においては、雇用情勢や個人消費は弱いものの、設備投資や生産については持ち直しの動きが見られます。

このような中、当第1四半期（2021年1月1日～3月31日）においては、ディスプレイや自動車関連市場における旺盛な需要を背景に主力の薄型パネルディスプレイ（FPD）用ガラス及びガラスファイバの出荷が増加し、その他の製品も総じて堅調であったことから、売上高は前年同四半期（2020年1月1日～3月31日）を上回りました。

損益面では、売上高の増加や生産性向上等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

②経営成績

	前第1四半期連結累計期間 (2020/1～2020/3) (億円)	当第1四半期連結累計期間 (2021/1～2021/3) (億円)	増減 (%)
売上高	649	685	6
営業利益	40	69	73
経常利益	35	119	237
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	68	205

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第1四半期連結累計期間 (2020/1～2020/3)		当第1四半期連結累計期間 (2021/1～2021/3)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報	340	52	349	51	9	3
	機能材料・その他	308	48	336	49	27	9
合計		649	100	685	100	36	6

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

電子・情報：

FPD用ガラスは、旺盛な需要が継続する中、計画を上回るスピードで国内事業場の停電により停止していた生産設備を順次立ち上げることができ、生産性の向上が着実に進んだことから、出荷は前年同四半期比で増加しました。光関連・電子デバイス用ガラスは、光関連が減少したものの、家電や自動車部品向けが堅調であったことから、前年同四半期並みの出荷となりました。

機能材料・その他：

ガラスファイバは、主に自動車部品向けを中心に需要が強まる中、在庫による出荷対応とともに休止していた生産設備の再稼働を進めたことにより、出荷が前年同四半期比で増加しました。医薬用管ガラスは、世界的な市場の拡大に対応するため、昨年生産を開始したマレーシアの新設備が寄与し、出荷は前年同四半期比で増加しました。耐熱ガラスは前年同四半期比で増加し、建築用ガラスは前年同四半期並みの出荷でした。

(損益面)

営業利益については、売上高の増加やFPD用ガラスの生産性向上等により前年同四半期を上回りました。

経常利益については、営業利益の増加に加えて、海外子会社への融資に係る債権債務の評価替えによる多額の為替差益を計上したこと等から、前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益及び経常利益が増加したこと、また、前述の停電に伴う操業の一時的な停止や設備修繕等の費用を特別損失に計上したものの、投資有価証券売却益や2019年に発生した台風による国内生産設備の損傷に係る受取保険金を特別利益に計上したこと等により前年同期を大幅に上回りました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2021年12月期第2四半期連結累計期間業績予想)

	2021年12月期 第2四半期連結累計期間 (2021/1～2021/6) (億円)		増減 (B-A) (億円)	増減率 (%)
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)		
売上高	1,350	1,400	50	4
営業利益	110	150	40	36
経常利益	150	190	40	27
親会社株主に帰属する当期純利益	80	110	30	38

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(2021年12月期通期連結業績予想)

	2021年12月期 通期 (2021/1～2021/12) (億円)		増減 (B-A) (億円)	増減率 (%)
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)		
売上高	2,700	2,800	100	4
営業利益	220	280	60	27
経常利益	260	320	60	23
親会社株主に帰属する当期純利益	160	210	50	31

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

感染症は依然として収束の兆しが見えませんが、世界経済は緩やかに回復していくものと予想されます。一方で、感染症の再拡大や世界的な半導体不足、国際物流の動向等が当社の関連市場に影響を及ぼす可能性があります。

このような中、「電子・情報」分野においては、FPD用ガラスは、年間を通して、ディスプレイ市場の旺盛な需要を背景に出荷は堅調に推移するものと予想しています。光関連・電子デバイス用ガラスは、自動車、医療等の成長市場において拡販と新製品の開発を進めていきます。

「機能材料・その他」分野においては、ガラスファイバは、自動車関連市場を中心に堅調な出荷が見込まれます。医薬用管ガラスは、更なる生産性の向上に努め、需要増加に対応していきます。耐熱ガラスや建築用ガラスは、新製品を中心に拡販を進めていきます。

損益面では、市場環境や為替、原燃料費の動向等に留意する必要がありますが、生産性を更に高めることで、収益の確保を目指してまいります。

当社は、2021年4月1日に業績予想の修正値を公表しましたが、当第1四半期連結累計期間の業績及び上記の見通しを踏まえ、再度、当社グループの2021年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を上表のとおり修正することといたします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	121,440	123,765
受取手形及び売掛金	59,286	62,399
商品及び製品	35,317	28,563
仕掛品	2,359	1,025
原材料及び貯蔵品	23,186	26,309
その他	4,973	5,713
貸倒引当金	△163	△173
流動資産合計	246,399	247,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,738	72,146
機械装置及び運搬具(純額)	249,825	252,554
その他(純額)	34,164	37,050
有形固定資産合計	355,727	361,751
無形固定資産	5,207	5,218
投資その他の資産		
その他	50,825	52,240
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	50,804	52,219
固定資産合計	411,739	419,188
資産合計	658,139	666,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,501	31,421
短期借入金	47,019	28,526
未払法人税等	1,533	2,163
その他の引当金	2,291	2,224
その他	24,230	25,062
流動負債合計	103,576	89,399
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	34,668	35,887
特別修繕引当金	9,341	9,617
その他の引当金	20	18
退職給付に係る負債	1,035	1,101
その他	12,576	13,862
固定負債合計	77,643	90,486
負債合計	181,219	179,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,310	34,310
利益剰余金	411,137	413,109
自己株式	△10,178	△10,178
株主資本合計	467,425	469,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,775	20,186
繰延ヘッジ損益	98	△41
為替換算調整勘定	△14,101	△7,063
その他の包括利益累計額合計	4,773	13,082
非支配株主持分	4,721	4,427
純資産合計	476,920	486,906
負債純資産合計	658,139	666,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	64,903	68,599
売上原価	52,402	51,329
売上総利益	12,501	17,270
販売費及び一般管理費	8,496	10,340
営業利益	4,004	6,929
営業外収益		
受取利息	136	141
受取配当金	465	198
為替差益	—	4,015
その他	337	1,197
営業外収益合計	939	5,552
営業外費用		
支払利息	145	136
固定資産除却損	4	154
為替差損	934	—
その他	298	192
営業外費用合計	1,382	483
経常利益	3,562	11,998
特別利益		
投資有価証券売却益	670	1,990
受取保険金	—	1,208
特別利益合計	670	3,198
特別損失		
事故損失	153	5,249
事業構造改善費用	146	—
投資有価証券評価損	105	—
その他	62	—
特別損失合計	468	5,249
税金等調整前四半期純利益	3,764	9,946
法人税等	1,390	3,058
四半期純利益	2,373	6,888
非支配株主に帰属する四半期純利益	139	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,234	6,804

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	2,373	6,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,411	1,410
繰延ヘッジ損益	△404	△140
為替換算調整勘定	△4,701	6,889
持分法適用会社に対する持分相当額	△48	149
その他の包括利益合計	△9,565	8,309
四半期包括利益	△7,192	15,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,353	15,113
非支配株主に係る四半期包括利益	161	84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報の記載から重要な変更はありません。